



難波っ子

令和4年度 5月号
尼崎市立難波小学校
校長 難波 佳代子

今できることを精一杯やっぺいこう！

感染症はなかなか収束には向かいませんが、尼崎市では今年度は学びを止めず、感染症対策をしながらできることをやっぺいこうという方針です。先日の参観懇談・修学旅行説明会にお忙しい中、来校いただきありがとうございます。今年度も感染防止対策の中ですが、できる限り保護者の皆様と学校が連携して教育活動が進められるよう努めていきます。ご理解ご協力よろしくお願ひします。新年度がスタートして、1か月。新しいクラスの様子もわかり慣れるとともに心配事も出てくるころだと思います。何か心配事がありましたら、どうぞ早めに担任や学校へご連絡ください。よりよい解決に向け、一緒に考えていきたいと思っぺいこうしております。

さて、始業式には、「できることをできる方法でできるときに精一杯やっぺいこう。」を合言葉に前向きに挑戦していくよう全校生に伝えました。今年度も、本校の教育目標「心豊かでたくましく、自ら学ぶ子どもの育成」の実現に向けて3つの柱を掲げています。

○自分も周りの人も大切にす豊かな心づくり。そのために具体的な取り組みとして、「あいさつ・掃除・後始末」(進んで気持ちの良い挨拶をする。もくもく掃除をして、心も磨く。みんなが使うものを大切にし、次に使う人のことを考えて後始末をする。)

○規則正しい生活習慣によるたくましい体づくり。そのために、早寝早起き朝ごはん。睡眠の充実。1時間集中できる体力・気力の育成。正しい姿勢の保持。給食残食ゼロ。

○自分の考えを持ち粘り強く学習に取り組む自ら学ぶ学びづくり。そのために、苦手なことから逃げず、やっぺいこうみる。できないこと・わからないことを見つげ出し、どうやっぺいこうたらできるか考える。わからないことはそのままにせず、人に聞いたり、調べたりする。あきらめずできるようになるまで繰り返し練習する。授業中、自分の考えを必ず持ち伝える。今できることに精一杯取り組み、感染症対策の中での新しい学校づくりを行っぺいこういきたいと思っぺいこうしています。

このように学校は子どもの成長のために全力で取り組みますが、学校だけでは子どもたちを心豊かに育むことはできません。学校・PTA・地域の連携を深めていく必要性を強く感じています。コロナ禍で学校に来校いただく機会も減り、人と会うことが激減する中、保護者同士や地域のつながりが希薄になっています。今年度はPTA活動やハッピーネットの活動がより活発になり、大人も子どもも人とつながることの幸せを感じ、難波小学校に関わる全ての人たちが心豊かな1年になるよう連携を深めていけたらと思っぺいこうしています。そのために学校も情報を発信していこうとホームページの更新やオープンスクール等学校に来校していただく機会の設定などに努めていきます。ご理解ご協力をよろしくお願ひします。最後になりましたが、見守り隊の皆様・あましんの方、登下校の見守り活動ありがとうございます。子どもたちのためにこの活動が広がっていくことを願っぺいこうしています。